

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 The Power of ICT	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	---------------------	------------------	-------------------------	--------------------	----------	------

ICTの提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減 持続可能性に貢献する(サステナビリティ)ソリューションの提供 エネルギー効率に優れたトップレベル製品の開発 製品の資源効率向上 先端グリーンICTの研究開発 **社会との協働/良き企業市民としての活動**

社会との協働/良き企業市民としての活動

富士通グループのアプローチ

グローバルICT企業として、お客様社会と共に持続可能で豊かな社会の実現を目指す富士通グループでは、NPO/NGO、教育機関、自治体、市民団体など多様な主体による社会課題の解決に向けた活動を、資金、技術(ICT)、人材(専門性)を通じて支援しています。具体的には、自治体が生物多様性地域戦略を策定・実行するための調査や市民啓発への技術支援、NPOの希少種保護、温暖化対策プロジェクトへの資金支援、モニタリングシステムなどの技術支援、国際機関の社会貢献プログラムへ参加する人材支援などが挙げられます。支援対象・内容は、事業拠点、富士通グループ各社が地域のニーズや課題を受けて判断しています。

また、社員一人ひとりが社会・環境課題に対して高い意識を持ち、当事者としてそれらの解決に関わっていくことを奨励し、社員が取り組む社会貢献活動を支援しています。

2013年度の実績サマリー

第7期環境行動計画の目標 (2015年度末まで)	社会との協働 生物多様性などの社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資金、技術、人材などを支援する。	良き企業市民としての活動 社員が社会とともに取り組む 社会貢献活動 を支援する。
2013年度実績 (主な事例)	【資金】 チャリティ・ランニング大会やHaiyan台風被災者への支援 【技術】 携帯フォトシステム・クラウドサービスの提供 【人材】 小規模慈善団体へのマネジメント/ノウハウ提供 など	社員の社会貢献活動時間 12.9万時間

2013年度の実績・成果

実績を集約し活動状況を把握

社会貢献活動の拡大に向けて、これまで各国、事業所、グループ会社ごとに計画・実施していた活動の集約管理を開始しました。これによって活動状況を把握すると共に、優れた事例の共有や課題解決にもつなげることができ、次年度の計画や内部目標の設定に役立っています。

国内外で12.9万時間の社会貢献活動を実施

生物多様性保全、障がい者雇用、次世代人材育成など、様々な社会課題に、資金、技術、人材の提供を通じて支援しました。

また、社員が取り組む社会貢献活動としては、国内各地での森づくり、間伐作業、小中学校を中心とした環境出前授業、地域清掃活動、海外ではチャリティイベントへの参加、マレーシアでの熱帯雨林再生活動、環境出前授業などを実施し、国内外を含めた社会貢献活動時間は12.9万時間となりました。



英国のチャリティ・ランニング大会に参加した社員とロンドン市長



フィリピンの小学校における環境出前授業には38名の生徒が参加



社会貢献活動事例

- **チャリティ・ランニング大会の参加費提供: Fujitsu UK and Ireland (英国)**
住居支援を行うNPO、Shelter様が開催するランニング大会 (Vertical Rush) にパートナー企業を含む社員300名が参加し15,000ポンドを寄付
- **台風被災者の支援: Fujitsu Philippine Global Delivery Center (フィリピン)**
フィリピンに甚大な被害をもたらした超大型の台風Haiyanの被災者を支援するため1,500米ドルを赤十字に寄付
- **大学院生へのクラウド技術サポート: 南京富士通南大軟件技術 (中国)**
南京師範大学の大学院生を対象に、クラウド・コンピューティングのデータ管理や分析・サービスの技術サポートを実施
- **小規模慈善団体へのノウハウ提供: Fujitsu UK and Ireland (英国)**
慈善団体「The Joshua Tree Charity」に約1年間1名を派遣し、戦略的なガバナンスやICT環境の整備を支援
- **環境出前授業の開催: FUJITSU DIE-TECH (フィリピン)**
社員2名がラグナ州にあるTimbao小学校で授業を実施し、地球環境問題の現状や子どもたちができる取り組みを説明

2014年度の目標・計画

社員の活動参加機会および活動時間の拡大

2013年度に活動状況を把握した結果、国内と比較して海外における実績が少ないこと、さらに在籍者数が多い地域において、社員の活動機会が不足していることが確認できました。

これを踏まえて、2014年度は海外プロジェクトの立ち上げを検討するほか、社員が参加できる保全活動や啓発活動を拡大する予定です。

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 The Power of ICT	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	---------------------	------------------	-------------------------	--------------------	----------	------

ICTの提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減 持続可能性に貢献する(サステナビリティ)ソリューションの提供 エネルギー効率に優れたトップレベル製品の開発 製品の資源効率向上 先端グリーンICTの研究開発 **社会との協働/良き企業市民としての活動**

2013年度の主な活動報告

携帯フォトシステム・クラウドサービス提供による生物多様性調査プロジェクトの支援

携帯フォトシステムはGPS機能のついた携帯電話やスマートフォンで生き物の写真を撮り、メールに添付して送信するとデータベースに蓄積され、インターネット上で閲覧できるシステムです。生き物の生息・生育情報を収集、管理できることから、このシステムをクラウドサービスとして13団体に提供し、活用いただいています。

訪花サービスを担うマルハナバチ類の国勢調査

外来種の影響などで減少傾向にあるマルハナバチの国勢調査にシステムを利用しています。全国の市民からの写真を元に、マルハナバチの国内分布予想図を作成しています。



携帯フォトシステム・クラウドサービス利用者の声

2013年度、全国からマルハナバチの写真投稿が1,300件を超えました。それらのデータからニッチモデルという手法を用いて、数種で生息分布を推定することが可能になりました。特



に、コマルハナバチ、オオマルハナバチ、トラマルハナバチなどの分布に影響する環境要因などが推定されました。

東北大学大学院 生命科学研究所 教授
河田 雅圭 様

TCE動植物種・ハビタット分布調査

授業の実習カリキュラムとしてシステムを活用し、生徒の啓発を図ると共に、システムの実用性や拡張性の検証も行います。将来、自然環境保全に携わる人材を育成します。



携帯フォトシステム・クラウドサービス利用者の声

この1年間、本校の実習などでこのサービスを利用させていただいた結果、学生を中心として信頼性の高い2,600件余りのデータをアップすることができ、この作業を通じて学生たちはシステムの扱いにも習熟しました。2014年度は、本来のター



ゲットである「対象種」の情報収集に力を入れていきたいと思えます。

東京環境工科専門学校 校長
幸丸 政明 様

岩手県宮古市で「復興と協働の森」プロジェクトをスタート

2013年10月、2日間にわたり、富士通グループ社員やその家族76名が「復興と協働の森」プロジェクトに参加しました。

このプロジェクトは「地域とつながる」をテーマに、宮古市とNPO法人、地元森林事業者が共同で取り組んでいる活動「Present Tree in 宮古」を活用した森林再生活動です。参加者一人ひとりが1本の木の「里親」となり、10年間木の成長を

見守り続けるという仕組みで、長期的に地域とつながりを持ち、復興を支援するきっかけとなるものです。

さらに、被災した田老地区で、地元の方々から震災時の生々しい体験や映像を紹介いただいたほか、被災後1年で再開した「真崎わかめ」の加工工場で作業体験をしました。

地域の方からは、「足を運んでくれる、現状を見て、知ってもらい、忘れないでいてくれることが何よりも嬉しい」、「来年も待ってます!」など、ありがたい言葉を頂きました。このプロジェクトは2014年度以降も継続して行っています。

プロジェクトに参加した社員の声

今回のイベントでは、親子でとても良い経験をさせていただきました。なかでも、被災地の現場に行き、地元の方にお話を伺ったことで、身を持って災害の大きさ、防災の大切さを強く感じました。

また、森林再生活動では、植えて終わりではなく、これから継続して見守っていけるということで、これまでご縁の無かった



地域とのつながりができたことが大変嬉しいです。

グローバルマーケティング本部
コーポレートブランド室
奈雲 ミサ